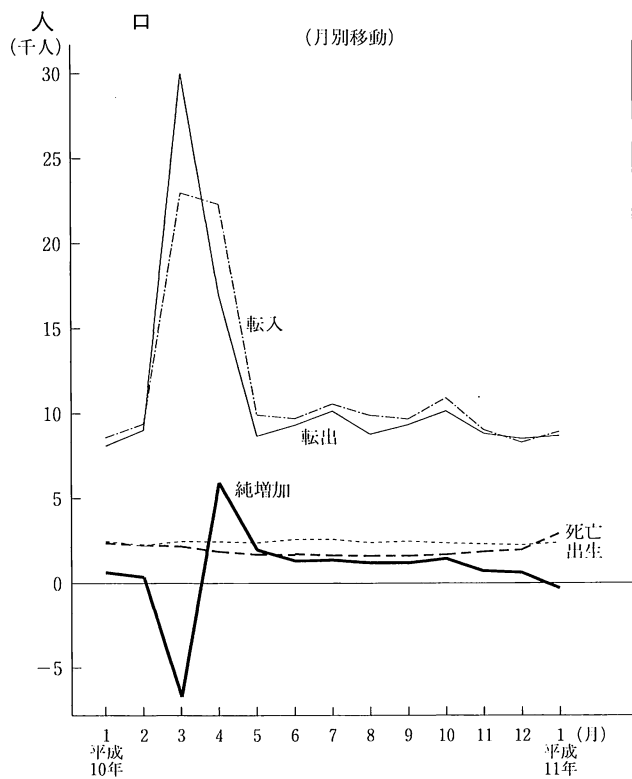
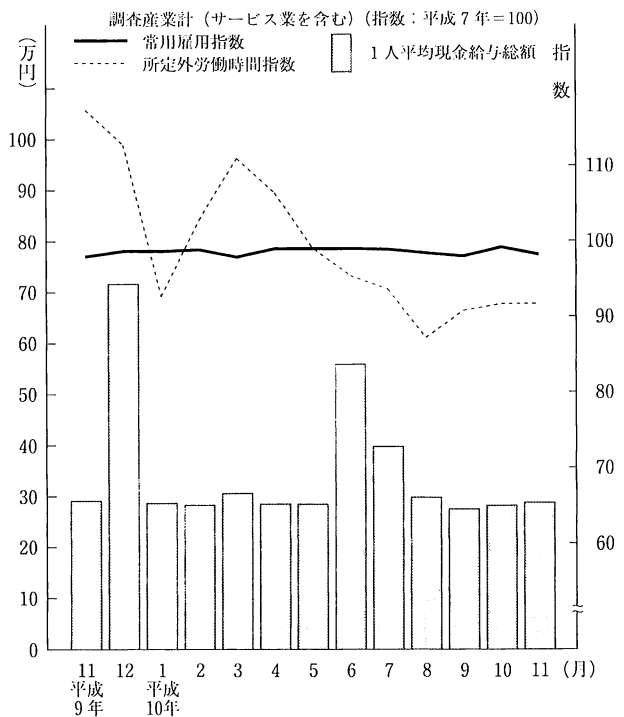


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



### ■人口 (11年2月1日)

#### 1月の概況

本県の人口は、1月中に316人減少し、2月1日現在で2,995,237人(男1,495,180人,女1,500,057人)となった。

内訳は、自然動態で、559人(出生2,385人,死亡2,944人)減少し、社会動態で、243人(転入8,920人,転出8,677人)増加した。前年同月と比べると9,241人(0.3%)の増加である。

市町村別では、増加が7市25町村,減少が13市37町村,増減なしが3町である。

世帯数についても1月中に、470世帯増加し、975,236世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用 (10年11月)

#### 1. 平均賃金の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で286,825円,対前年同月比1.3%減,このうち,きまって支給する給与は275,132円,対前年同月比1.6%減であった。特別に支払われた給与は,11,693円であった。

#### 2. 労働時間

11月の総実労働時間は、調査産業計で157.6時間,対前年同月比1.8%減であった。このうち,所定内労働時間は147.6時間,対前年同月比0.1%減,所定外労働時間は10.0時間,対前年同月比21.9%減であった。

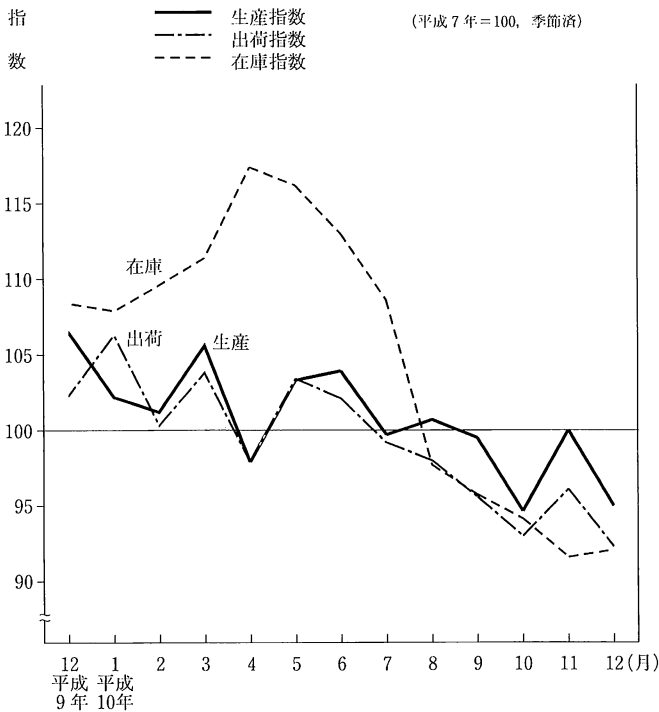
#### 3. 雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお,事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

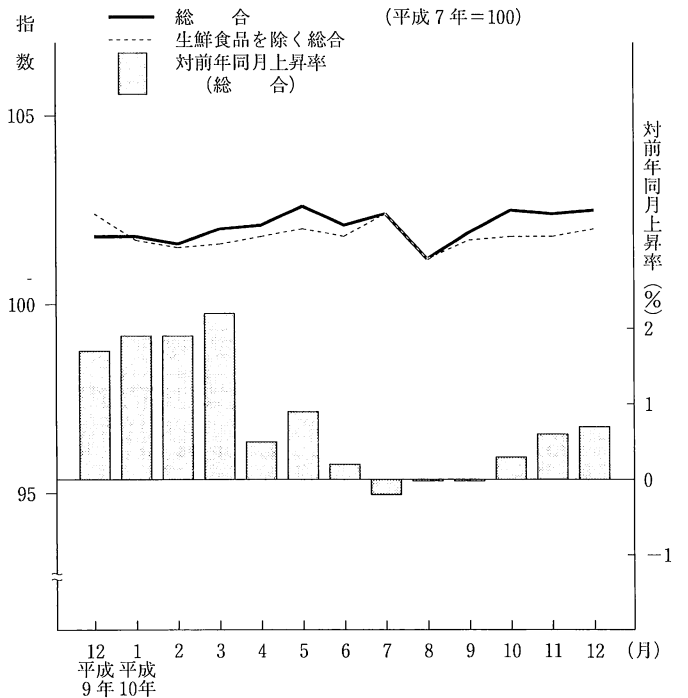


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年12月）

本県における平成10年12月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が95.0、出荷が92.3、在庫が92.1で、前月比は、生産が△5.0%の低下、出荷が△4.3%の低下、在庫が0.5%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が△10.8%の低下、出荷が△9.8%の低下、在庫が△15.0%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、精密機械工業、化学工業等が上昇し、一般機械工業、鉄鋼業、鉱業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、精密機械工業、輸送機械工業等が上昇し、一般機械工業、鉱業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、電気機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、輸送機械工業、金属製品工業、鉄鋼業等が低下した。財別にみると、生産では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財、建設財が低下した。出荷では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、建設財、非耐久消費財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年12月）

平成10年12月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.5（平成7年＝100）となり、対前月比0.1%の上昇、対前年同月比0.7%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……魚介類3.3%、乳卵類2.7%、  
たばこ7.8%

今月の下がった主な項目……野菜・海藻5.1%、油脂・調味料1.8%

生鮮食品を除く総合は102.0となり、対前月比0.2%の上昇、対前年同月比0.4%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区 分	指 数	上 昇 率 (%)		区 分	指 数	上 昇 率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.5	0.1	0.7	保 健 医 療	112.0	△0.1	△0.7
食 料	104.0	△0.1	4.1	交 通 通 信	97.6	0.0	△1.1
住 居	101.9	0.3	△0.3	教 育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.9	0.0	△3.0	教 養 娯 楽	99.0	0.0	△1.1
家具・家事用品	96.6	0.1	△0.4	諸 雑 費	102.5	1.7	1.6
被服及び履物	110.1	△0.1	0.2	生鮮食品を除く総合	102.0	0.2	△0.4